

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 30 号

第 30 週(7月 25日 ~ 7月 31日)

発行年月日:平成17年(2005年) 8月 5日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (30週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (30週)	全国 (30週)	滋賀	全国 ^(*1)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	^(*2) 6	325	9	576
	腸チフス	0	0	28	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3	6	1,525	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	^(*3) 30	1	34
	A型肝炎	0	1	^(*3) 122	0	136
	オウム病	0	1	24	1	39
	デング熱	0	1	17	2	45
5類感染症	マラリア	0	0	40	2	73
	アメーバ赤痢	0	2	397	8	580
	ウイルス性肝炎	1	1	174	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	35	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	3	663	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	40	2	85
	梅毒	0	0	299	4	516
	破傷風	0	0	54	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	42	0	49
急性脳炎	0	1	^(*3) 119	1	164	

*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 *2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。
 *3:平成17年第28週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

2)定点把握の対象となる5類感染症

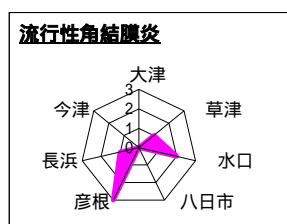
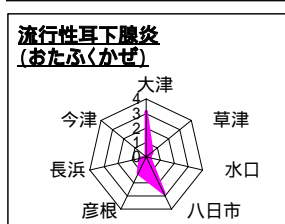
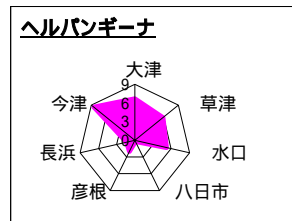
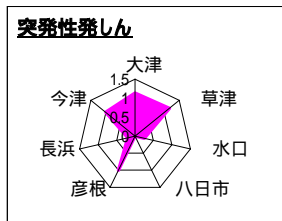
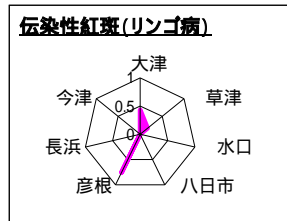
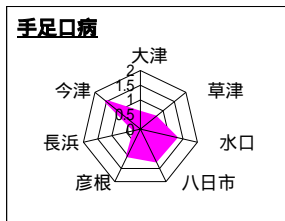
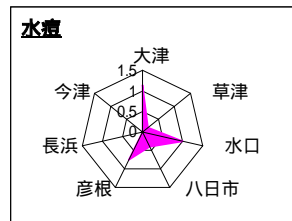
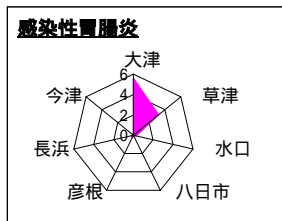
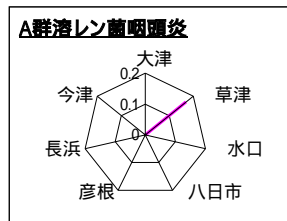
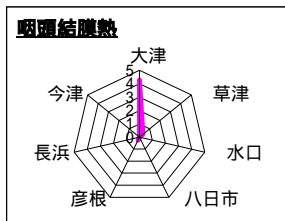
(1)疾病別・週別発生状況(第25~30週、6/20~7/31)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	25週		26週		27週		28週		29週		30週	
	(6/20~)	(6/27~)	(7/4~)	(7/11~)	(7/18~)	(7/25~)	26	27	28	29	30	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.73	0.70	0.91	0.88	0.82	1.00						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	0.27	0.61	0.55	0.30	0.03						
感染性胃腸炎	2.88	1.88	2.15	2.03	1.85	1.85						
水痘	2.36	1.55	1.06	1.00	0.94	0.55						
手足口病	0.42	0.85	1.39	1.27	1.15	0.82						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.12	0.15	0.06	0.09	0.21						
突発性発しん	0.79	0.39	0.52	0.94	0.48	0.70						
百日咳	0	0	0	0	0.03	0						
風しん(三日はしか)	0.06	0	0	0.03	0	0						
ヘルパンギーナ	1.94	3.03	5.55	5.00	4.39	4.12						
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0.12	0	0.03	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.42	1.30	1.21	1.45	0.70	1.42						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.71	0.29	1.29	0.57	0.71	1.00						
細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0.14	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第30週、7/25～7/31)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	1.00	4.29	0.33	0	0	0.25	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎	1.85	5.57	3.17	0.25	0	0.25	0.20	0
水痘	0.55	1.14	0.17	1.00	0.40	0.75	0	0
手足口病	0.82	0.57	0.67	1.25	1.20	1.00	0.20	1.50
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.21	0.43	0.17	0	0	0.75	0	0
突発性発しん	0.70	1.14	1.17	0.25	0	1.00	0.20	1.00
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	4.12	6.71	5.83	5.25	0.20	2.00	1.40	8.50
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.42	3.14	0.50	0.25	2.80	1.25	0.40	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1.00	0	1.00	2.00	0	3.00	1.00	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



戻る

今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。咽頭結膜熱は先週と同様に大津からの報告が非常に多くなっています。手足口病については、先週報告のなかった八日市からの報告が増加しており、伝染性紅斑についても先週報告のなかった大津、草津および彦根から報告されています。また、流行性耳下腺炎は大津および八日市で先週よりかなり増加しています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

腸管出血性大腸菌感染症の発生はさらに増加 手足口病およびヘルパンギーナは減少傾向

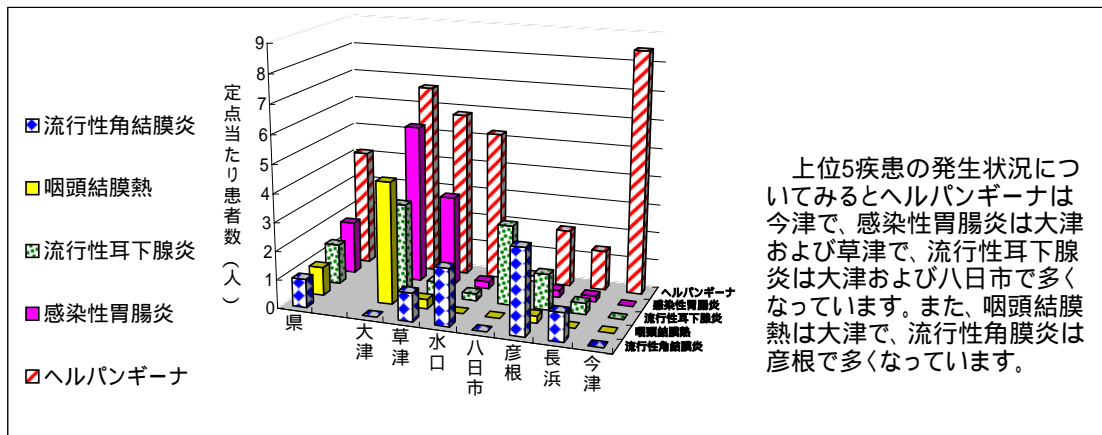
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(7月18日～7月24日)の報告数とほぼ同じで大部分の疾患は減少または横ばい状態となっています。今週、増加した疾患は咽頭結膜熱、伝染性紅斑(リンゴ病)、突発性発しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)および流行性角結膜炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

ヘルパンギーナについては、先週の定点当たり患者数4.39よりやや減少し4.12となっていますが草津および水口保健所管内では増加しています。また、大津および今津保健所管内においては先週に引き続き多い状態で推移しています。

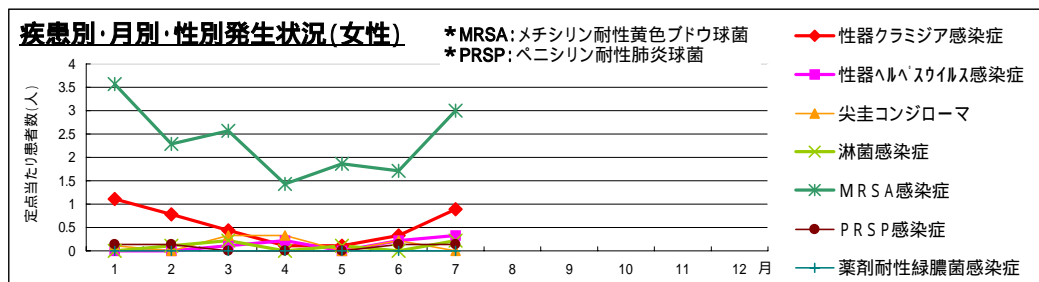
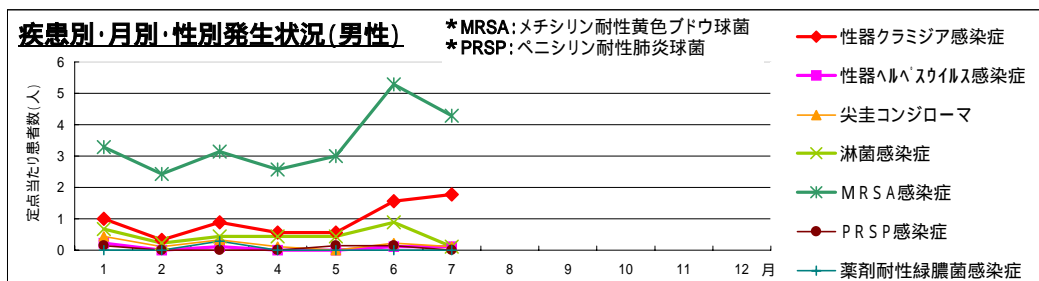
流行性角結膜炎については、第27週(7/4～7/10)以降増加傾向を示しており、特に水口および彦根保健所管内で多く発生しています。

定点把握の対象となる5類感染症における上位5疾患の保健所管内別発生状況

(平成 17年第30週、H17.7.25～H17.7.31)



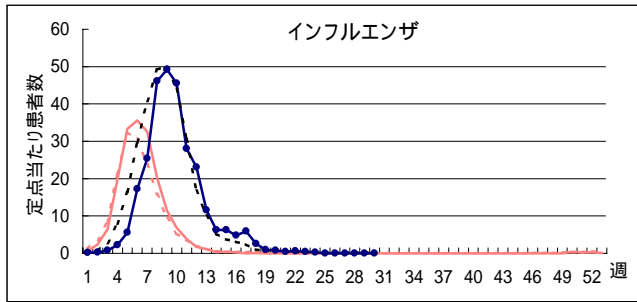
4) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成17年1月～7月)



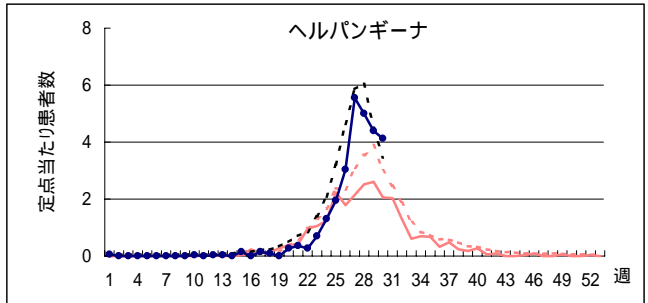
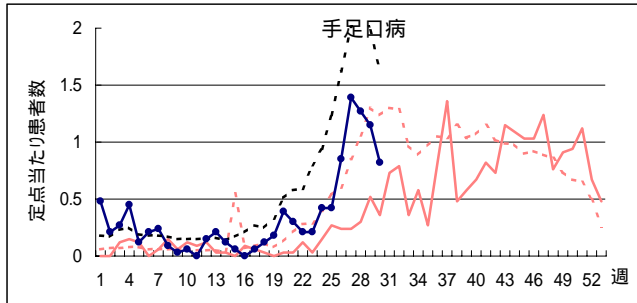
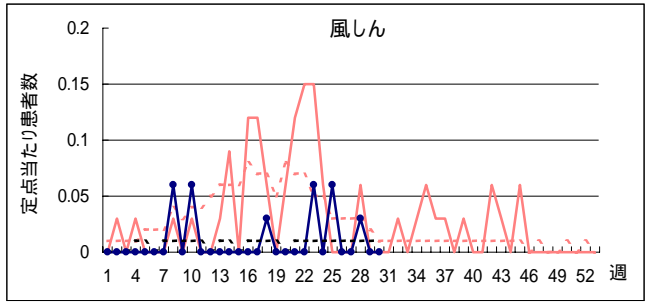
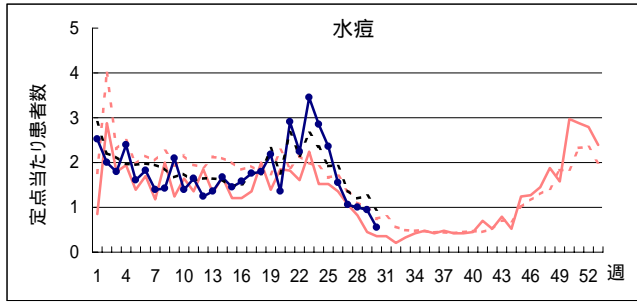
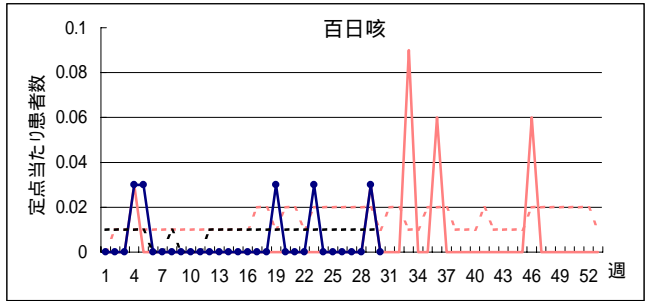
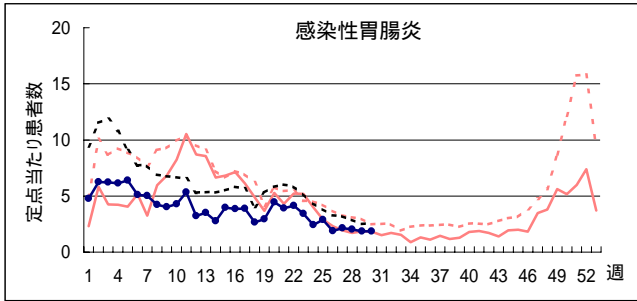
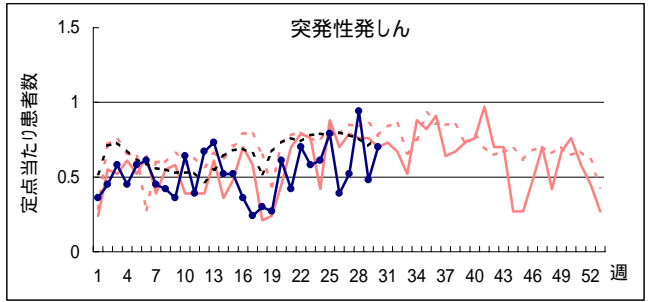
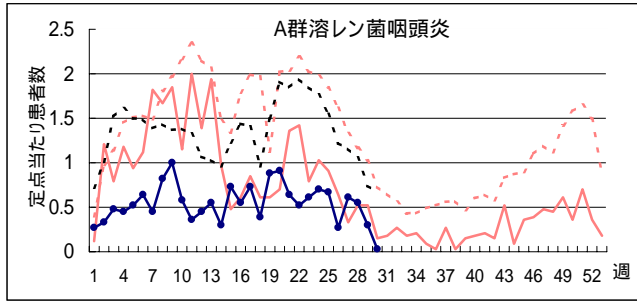
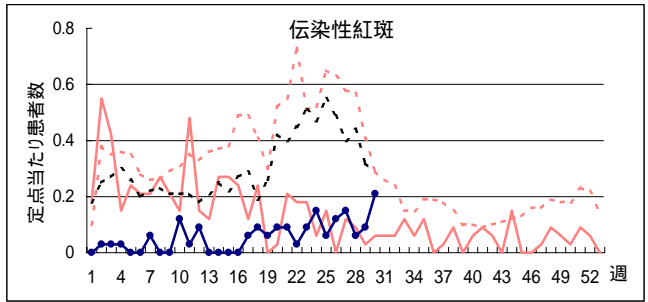
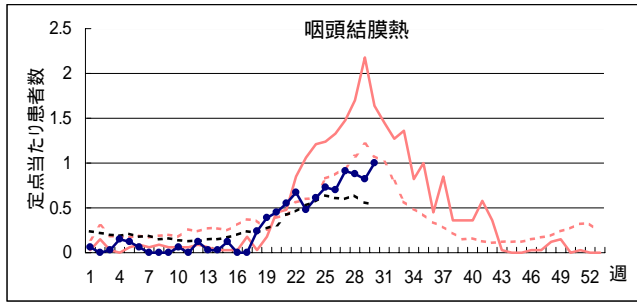
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症およびMRSA感染症は増加していますが、その他の疾患は減少あるいは変化なしとなっています(詳細については性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

各疾患の月別・性別発生状況は上記のグラフのとおりです。男性では性器クラミジア感染症が先月に引き続き増加し、淋菌感染症およびMRSAはかなり減少しています。女性では淋菌感染症およびMRSA感染症が急増しています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第30週、H17.1.3～H17.7.31)

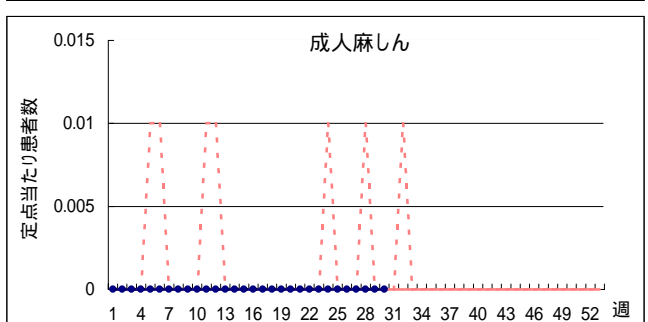
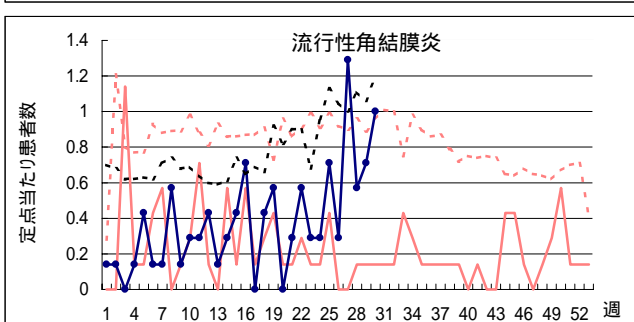
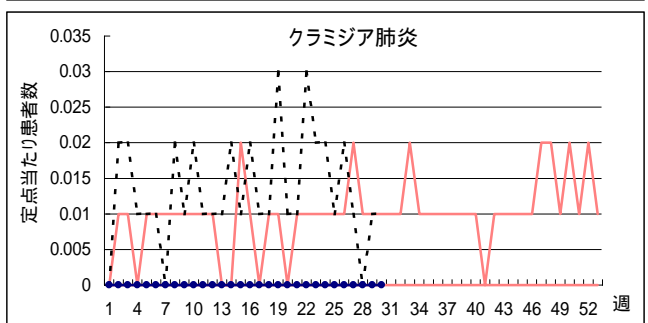
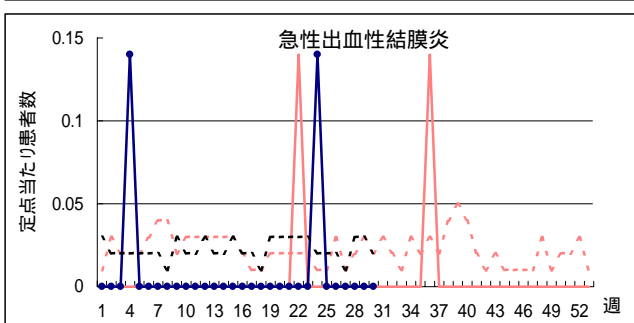
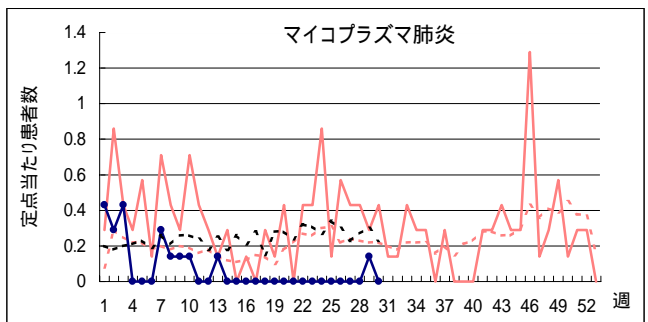
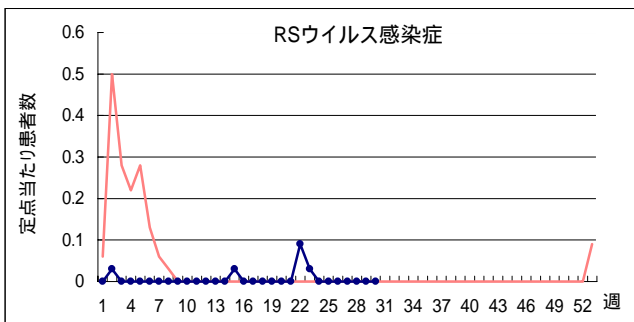
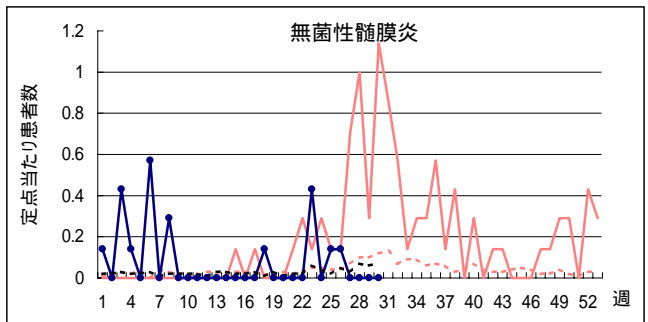
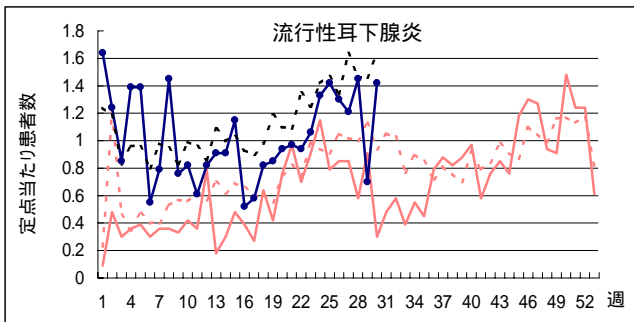
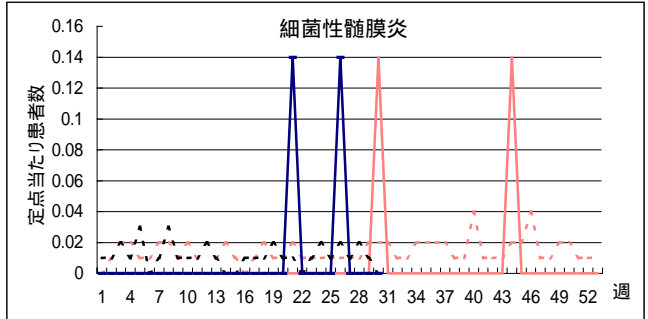
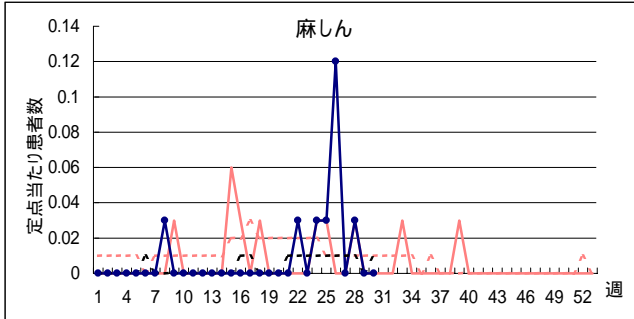


H16 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H17 { 滋賀 —●—●—●—
 全国 ······



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第30週、H17.1.3～H17.7.31)

H16 { 滋賀 ———— 全国 }
 H17 { 滋賀 ●——● 全国 - - - - - }

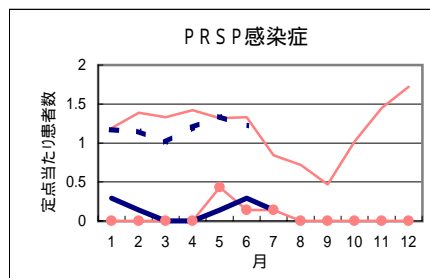
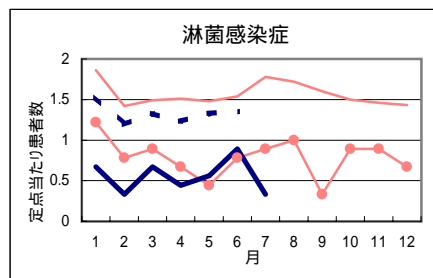
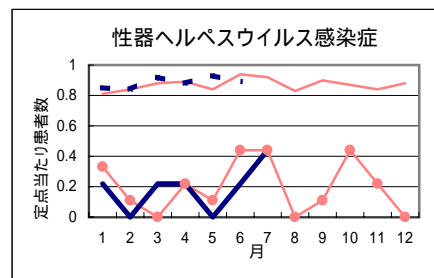
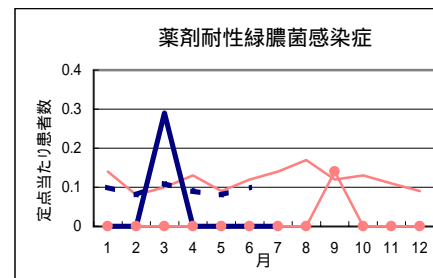
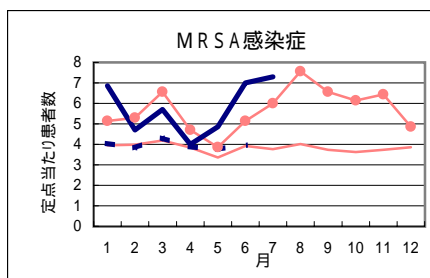
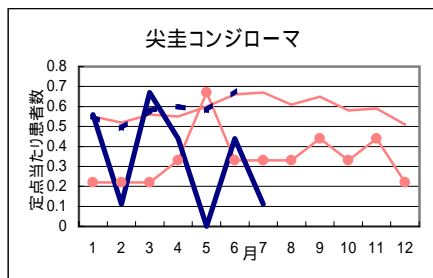
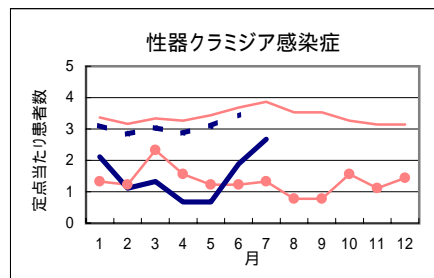


性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

7月報 (集計期間:平成17年1月~7月)

戻る

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	19	10	12	6	6	17	24						94
	定点当たり	2.11	1.11	1.33	0.67	0.67	1.89	2.67						1.49
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	2	0	2	2	0	2	4						12
	定点当たり	0.22	0	0.22	0.22	0	0.22	0.44						0.19
尖圭コンジローマ	罹患数	5	1	6	4	0	4	1						21
	定点当たり	0.56	0.11	0.67	0.44	0	0.44	0.11						0.33
淋菌感染症	罹患数	6	3	6	4	5	8	3						35
	定点当たり	0.67	0.33	0.67	0.44	0.56	0.89	0.33						0.56
MRSA感染症	罹患数	48	33	40	28	34	49	51						283
	定点当たり	6.86	4.71	5.71	4.00	4.86	7.00	7.29						5.78
PRSP感染症	罹患数	2	1	0	0	1	2	1						7
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.14	0.29	0.14						0.14
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	2	0	0	0	0						2
	定点当たり	0	0	0.29	0	0	0	0						0



H16 { 滋賀 ●●●●●
 { 全国 ————
 H17 { 滋賀 ————
 { 全国 ●●●●●
 MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌